

# Dino-Liteの向きの合わせ方

Dino-Liteを下記の向きとした場合のモニター画面の見え方

反対側(奥側)から見た場合、倍率ダイヤルは右側



手前側

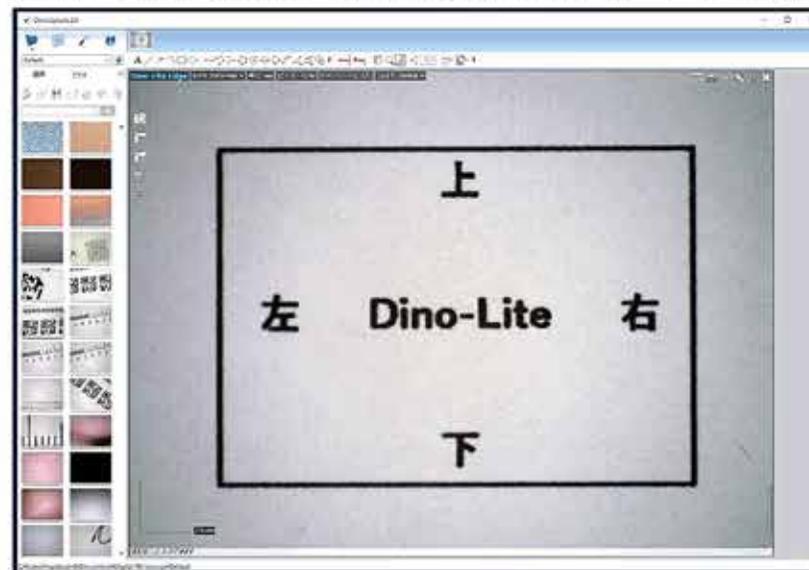
奥側

本体のDino-Liteマークは奥側

倍率ダイヤルを左側に向ける  
(手前から見て)

「右手親指でダイヤルを回しやすい向き」  
と覚えると良いです。

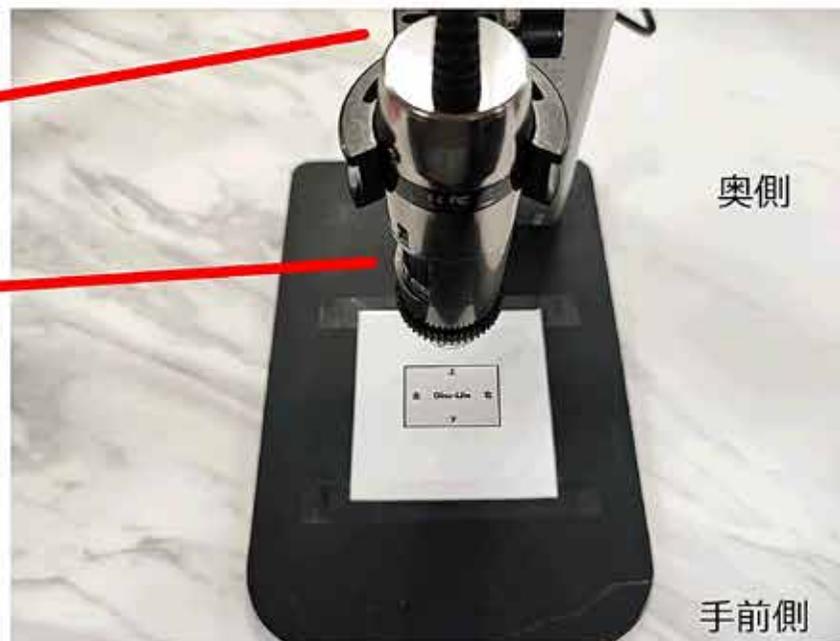
※上記以外の向きにすると、対象物の位置  
関係がモニター上で分かりにくくなります。



奥側

手前側

Dino-Liteの正しい向き



奥側

手前側

# Dino-Liteのピントの合わせ方

## 準備する

- 1) Dino-Liteを正しい向きに設置します。  
(「Dino-Liteの向きの合わせ方」を参照ください。)
- 2) 対象物を、スタンド上のDino-Liteのレンズの真下の位置に置きます。
- 3) モニター画面上に映し出したい、おおよその観察(撮影)範囲をイメージします。
- 4) 本体と対象物を、その観察範囲に適したおおよその距離になるように、スタンドの高さを調整します。観察範囲が広い場合はその距離を大きくします。  
例えば、観察したい範囲が20x15mmであれば、本体と対象物の距離を約5cm位(Edgeシリーズ20-220倍モデルの場合)にします。  
(観察範囲と対象物の距離との関係については、Dino-Liteカタログの「撮影範囲について」のページを参照ください。)



## ピントを合わせる

- 1) Dino-LiteをパソコンのUSBに接続し、ソフトウェアDinoCaptureを起動し、対象物をモニターに映し出します(USB接続モデルの場合)。
- 2) 本体の「ピントと拡大率調整ダイヤル」(倍率ダイヤル)を動かしてピントを合わせます。
- 3) スタンドの「高さ調整ダイヤル」を回して、ピントをより正確に合わせます。



\* 機能は一部のモデルでのみご利用できます。

## 注意事項

- 1) 正確に観察したり撮影するために、スタンド(保持機器)をお使い頂くことをお勧め致します。  
LWD(望遠)モデルや低倍率を使う場合、本体と対象物に距離があるため、スタンドは必要です。
- 2) スタンドが利用できない時、標準倍率(20~220x)モデルでは、ブレを防止するため、本体先端部と対象物を密着させ、下記の方法で使うことができます。  
○本体先端部と対象物を密着させる。  
○約70倍と約180倍の2つの倍率のみが利用可能(Edgeモデルの場合)。  
スタンドがない場合、上記以外ではお使い頂けません。

